



ネットワークCDレシーバー

CRX-N560

取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(47～50ページ)を必ずお読みください。

■製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

■保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付

Made for
 iPod  iPhone  iPad



目次

はじめに4

付属品4

本書について4

各部の名称5

フロントパネル5

リアパネル6

ディスプレイ7

🔍 ディスプレイの明るさを調整する7

リモコン8

準備する9

スピーカーを接続する9

アンテナを接続する10

ネットワークに接続する11

電源を入れる12

ネットワーク機器の 設定をする13

パソコンの設定13

NAS の設定13

モバイル端末の設定13

CD の音楽を聴く14

iPod/USB 機器の音楽を 聴く15

iPod を再生する15

USB 機器を再生する15

パソコンの曲を聴く17

音楽ファイルの共有設定をする17

パソコンの曲を再生する18

外部機器の音楽を聴く19

音楽をもっと楽しむ20

シャッフル(ランダム)再生する20

リピート再生する20

曲情報を見る21

音質を調整する22

FM ラジオを聴く23

放送局を選ぶ23

放送局を登録する23

登録した放送局を選ぶ
(プリセット選局)24

🔍 登録した放送局を削除する24

インターネットラジオを 聴く25

AirPlay で音楽を聴く26

iPod を再生する26

iTunes を再生する26

時計を使う27

時計を合わせる27

目覚ましタイマー28

スリープタイマー29

ファームウェアを更新する30

オプション設定31

オプションメニュー一覧32

故障かな?と思ったら33

全般33

ネットワーク34

iPod36

ディスク36

USB 機器37

ラジオ37

ディスプレイの表示メッセージ38

対応機器 / メディアとファイ ル形式40

主な仕様42

ソフトウェア情報43

安全上のご注意47





わあ、
いい音！

パソコン内のファイルって
こんなにいい音だったんだ ……17、18

高音質ファイルの再生にも
対応しているんだね ……22

いつでも
どこでも
音楽を

このアプリ便利！リモコン代わりに
結構使えるかも ……18

iPhoneの曲も無線で
スピーカーから！ ……26

もっと
音楽を楽しむ

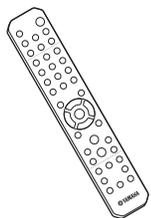
Blu-rayにDVD、携帯端末、いろんな
外部機器を接続できるんだ ……19

インターネットラジオを
マイオーディオで ……25

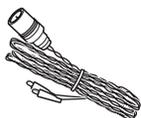
はじめに

付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

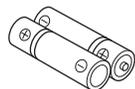
付属品



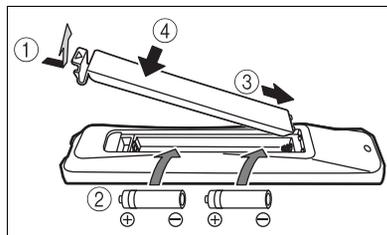
リモコン



FMアンテナ



単3乾電池 (2本)



電池の+と-を確認し、正しい向きで電池をリモコンに入れてください。



- リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。

本書について

• 操作について

- リモコンでの操作をメインに記載しています。
- 本文中のiPodという表記はiPhone/iPadも含みます。

• イラストについて

取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

• マークについて



使用時の注意点や機能の制約が記載されています。



知っておくと便利な補足情報が記載されています。



関連情報が記載されているページです。

音楽を楽しむエチケット

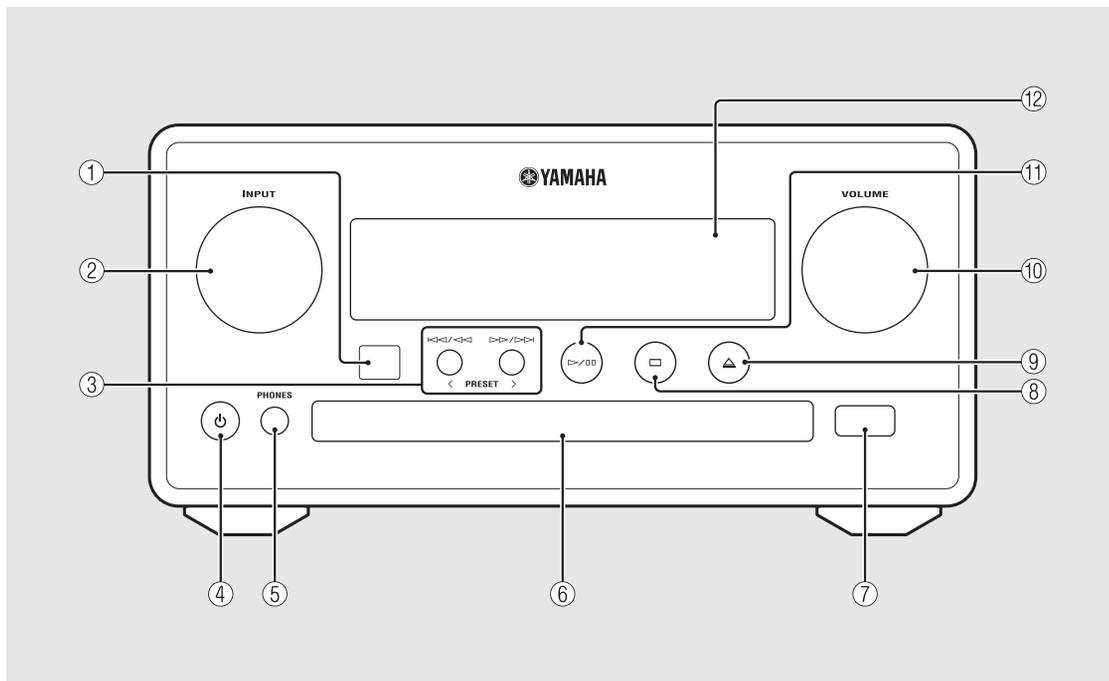


楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用したり周囲に配慮しましょう。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

各部の名称

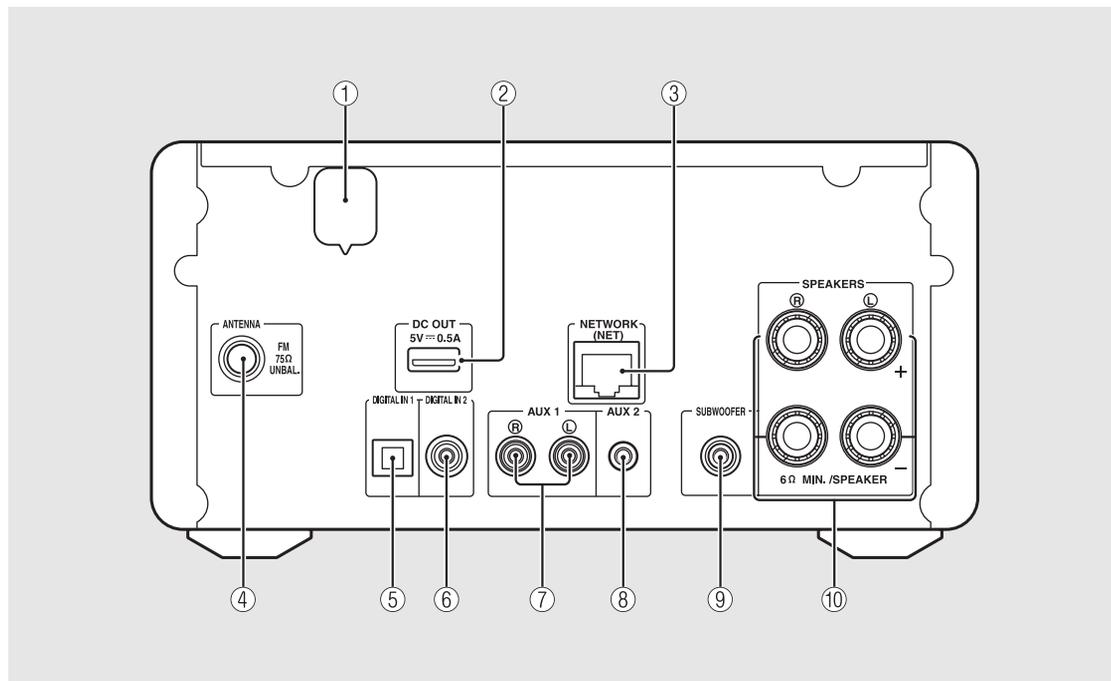
本機の各部分の名前と機能をご確認ください。

フロントパネル



- ① リモコン信号受光部
- ② インプット INPUT
左右に回して音楽ソースを切替えます (ソースはディスプレイに表示されます)。
- ③ ◀◀/▶▶ ▶▶/▶▶ (☞ P.14、16、18)
プリセット PRESET</> (☞ P.24)
- ④ ⏻ (電源) (☞ P.12)
- ⑤ フォーンズ PHONES
ヘッドホンを接続します。
- ⑥ ディスクトレイ (☞ P.14)
- ⑦ USB 端子 (☞ P.15)
- ⑧ □ (停止) (☞ P.14、16、18、25)
- ⑨ ▲ (ディスクトレイ開閉) (☞ P.14)
- ⑩ ボリューム VOLUME
音量を調節します。
- ⑪ ▶/⏸ (曲の再生 / 一時停止)
(☞ P.14、16、18)
- ⑫ ディスプレイ (☞ P.7)

リアパネル



① 電源コード (☞ P.12)

② DC OUT 端子
ディーシー アウト

ヤマハ製AVアクセサリに電源を供給するための端子。使用するときは、オプション設定で[System Config] > [Use Accessory] を [YES] にしてください (☞ P.31)。詳しくはAVアクセサリの取扱説明書もご覧ください。

③ NETWORK 端子 (☞ P.11)
ネットワーク

市販のLANケーブルを使ってネットワークへ接続します。

④ FM アンテナ端子 (☞ P.10)

⑤ DIGITAL IN 1 端子 (光入力) (☞ P.19)
デジタル イン

⑥ DIGITAL IN 2 端子 (同軸入力) (☞ P.19)
デジタル イン

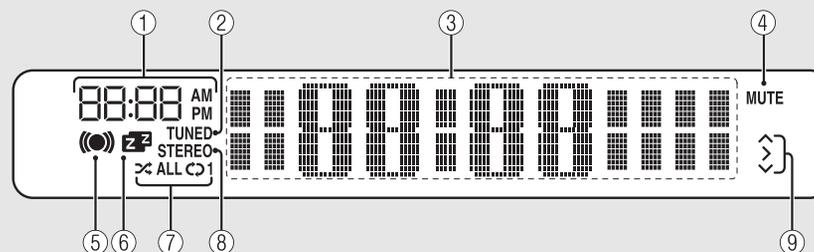
⑦ AUX 1 端子 (RCA入力) (☞ P.19)

⑧ AUX 2 端子 (ミニジャック入力) (☞ P.19)

⑨ SUBWOOFER 端子 (☞ P.9)
サブウーファー

⑩ SPEAKERS 端子 (☞ P.9)
スピーカー

ディスプレイ



① 時計

電源オンのときに時刻を表示します。

② チューンド TUNED インジケータ

放送局を正しく受信しているときに点灯します。

③ 多機能インジケータ

スタンバイ中の時計や再生中の曲の情報、ラジオの周波数など、さまざまな情報を表示します。ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。

④ ミュート MUTE インジケータ

消音したときに点灯します (☞ P.8)。

⑤ 目覚ましタイマーインジケータ

目覚ましタイマーを設定中に点滅、およびオンにしたときに点灯します (☞ P.28)。

⑥ スリープタイマーインジケータ

スリープタイマーを設定すると点灯します (☞ P.29)。

⑦ シャッフル、リピートインジケータ

iPod、CD、USB、パソコンの曲をシャッフル再生、またはリピート再生しているときに点灯します (☞ P.20)。

⑧ ステレオ STEREO インジケータ

FMステレオ放送を良好に受信しているときに点灯します。

⑨ 操作インジケータ

リモコンの▲、▼、ENTER (☞ P.8) の操作可能なカーソルを表示します。

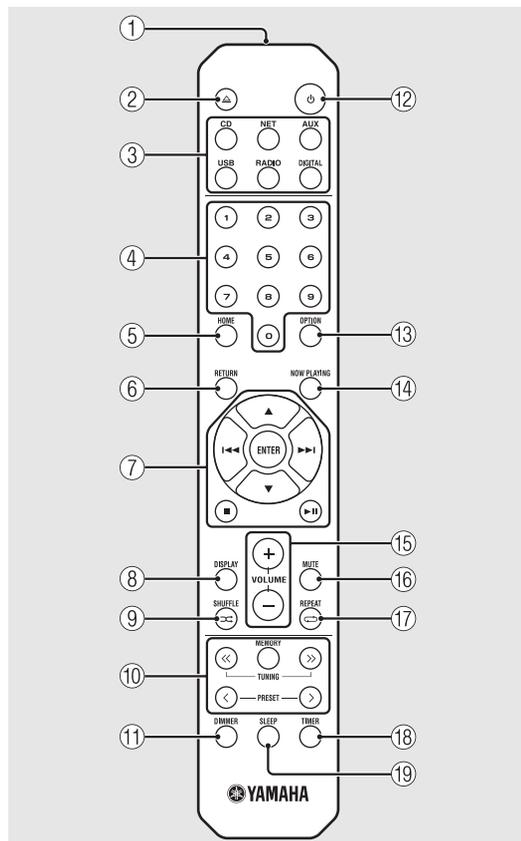


ディスプレイの明るさを調整する

リモコンの **DIMMER** ボタン (☞ P.8) を押すと、ディスプレイの明るさを調整できます。

- 押すたびに、明るい (初期設定)、やや明るい、暗い、の3段階に切替わります。

リモコン



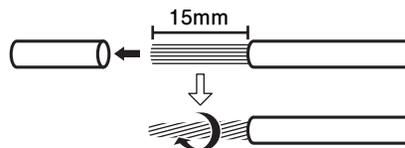
- ① 赤外線信号送信部
- ② △ (ディスプレイ開閉) (☞ P.14)
- ③ ソースボタン
音楽ソースを切替えます。
- ④ 数字ボタン (☞ P.14)
- ⑤ HOME (ホーム) (☞ P.16、18、25)
- ⑥ RETURN (リターン) (☞ P.14、16、18、25)
- ⑦ オーディオ操作、カーソル操作ボタン
(☞ P.14、16、18、25)
- ⑧ DISPLAY (ディスプレイ) (☞ P.21)
- ⑨ ⇄ (SHUFFLE) (シャッフル) (☞ P.20)
- ⑩ FM 操作ボタン (☞ P.23、24)
- ⑪ DIMMER (ディマー) (☞ P.7)
- ⑫ ⏻ (電源) (☞ P.12)
- ⑬ OPTION (オプション) (☞ P.22、27、31)
- ⑭ NOW PLAYING (ナウ プレイング) (☞ P.16、18、25)
- ⑮ VOLUME +/- (ボリューム) (☞ P.7)
音量を調整します。
- ⑯ MUTE (ミュート) (☞ P.7)
消音/消音の解除を行ないます。
- ⑰ ⇄ (REPEAT) (リピート) (☞ P.20)
- ⑱ TIMER (タイマー) (☞ P.28)
- ⑲ SLEEP (スリープ) (☞ P.29)

準備する

スピーカーやアンテナなどを接続して、本機の電源を入れます。
電源コードは、すべてのケーブルを接続し終わってからコンセントに差し込んでください。

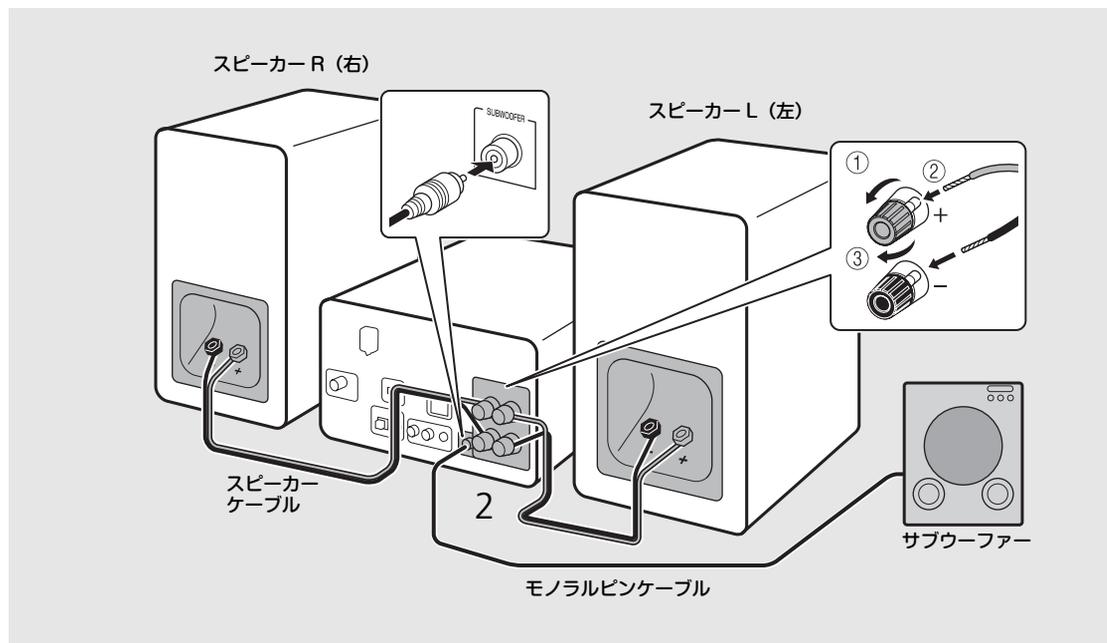
■ スピーカーを接続する

- 1 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）をはがし、芯線を露出させる。



- 2 右図のようにスピーカーを接続する。

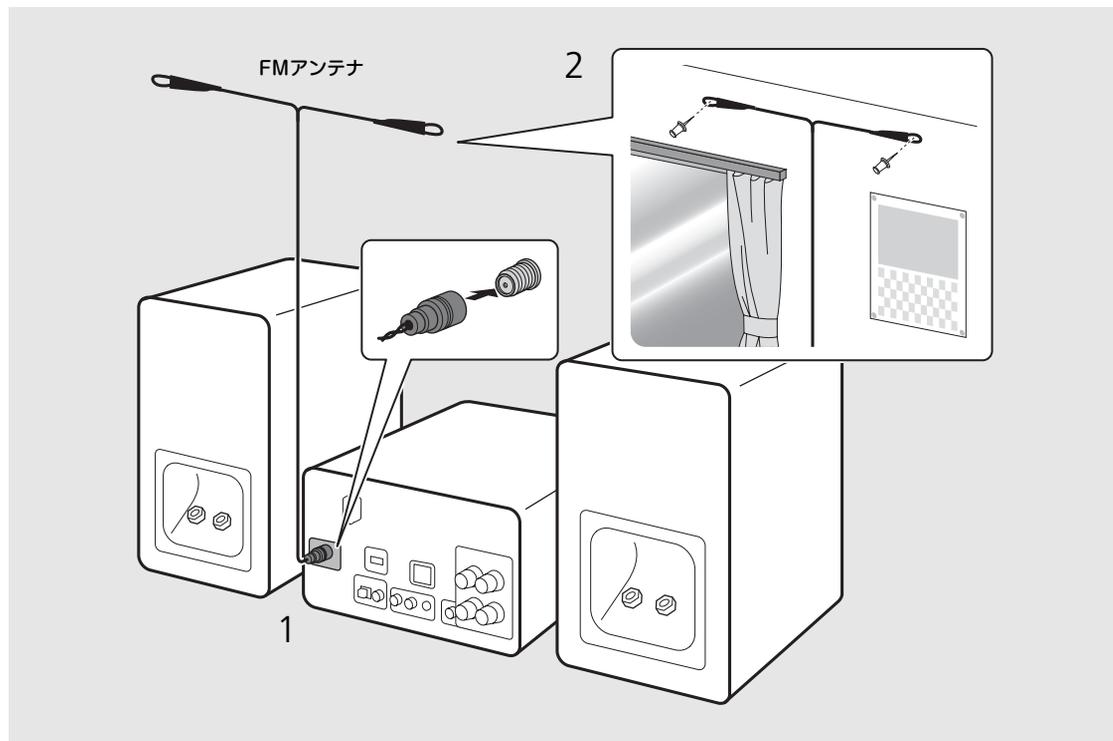
- スピーカー、スピーカーケーブルは別途ご注意ください。
- スピーカーの接続については、スピーカーに付属している取扱説明書をご覧ください。



- 左右のスピーカーの芯線どうしが接触したり、芯線が他の金属部に接触したりすることのないようご注意ください。本体およびスピーカーを破損する原因となります。
- スピーカーは、端子の左右（L、R）や、極性（赤：+、黒：-）を確認して正しく接続してください。間違えて接続すると音が不自然になります。
- スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- 本機はサブウーファーも接続できます。その場合は、アンプ内蔵のものをお使いください。

■ アンテナを接続する

- 1 付属のFMアンテナを接続する。
- 2 最もよく受信する位置にピン等で固定する。



- アンテナはイラストのように広げて張ってください。
- 受信状態が悪い場合は、付属のアンテナの代わりに市販の屋外アンテナを使用すると改善される場合があります。

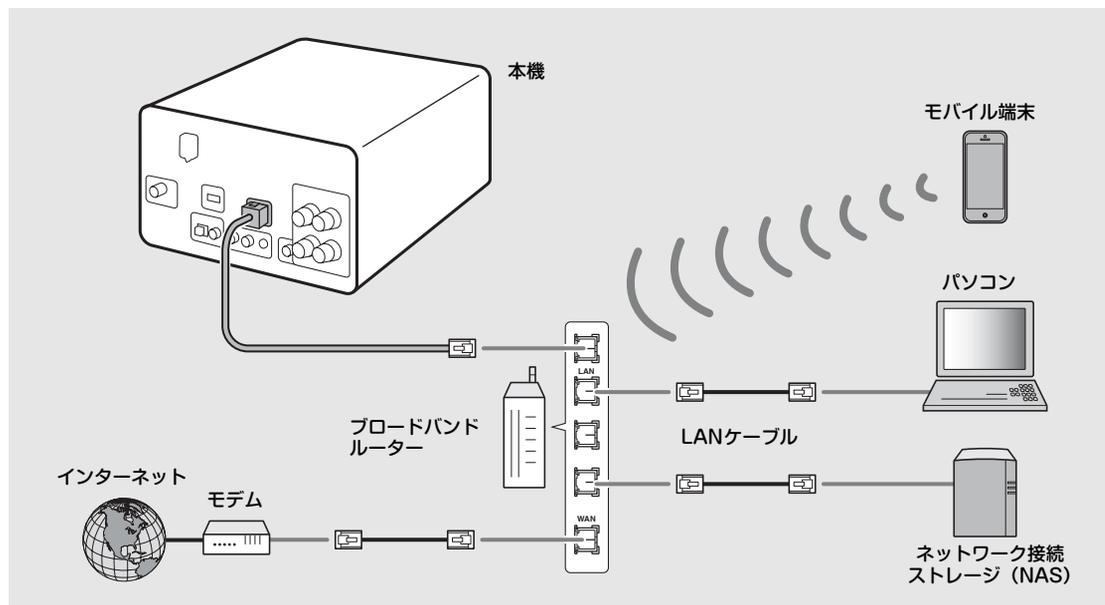
■ ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイル端末、ネットワーク接続ストレージ (NAS) などのDLNA*サーバーに保存されている音楽ファイル、またはインターネットの音声コンテンツを再生できます。モバイル端末で本機を操作することもできます。

* Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス)

右図のように本機をネットワークに接続する。

- 接続ケーブルは市販のSTPネットワークケーブル (CAT-5以上のストレートケーブル) を使用してください。



- インターネットの接続については、お使いのネットワーク機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- DHCPサーバー対応のルーターをお使いの場合は、本機でネットワーク設定を行う必要はありません。DHCPサーバー非対応のルーターをお使いの場合は、オプション設定の [Network Config] でネットワーク設定をしてください (☞ P.31)。
- 高音質を保つため、モバイル端末以外の機器の接続は有線接続を推奨します。
- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定 (ファイアウォールなど) により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- サブネットを手動で設定する場合は、すべて本機と同じサブネットに設定してください (☞ P.32)。

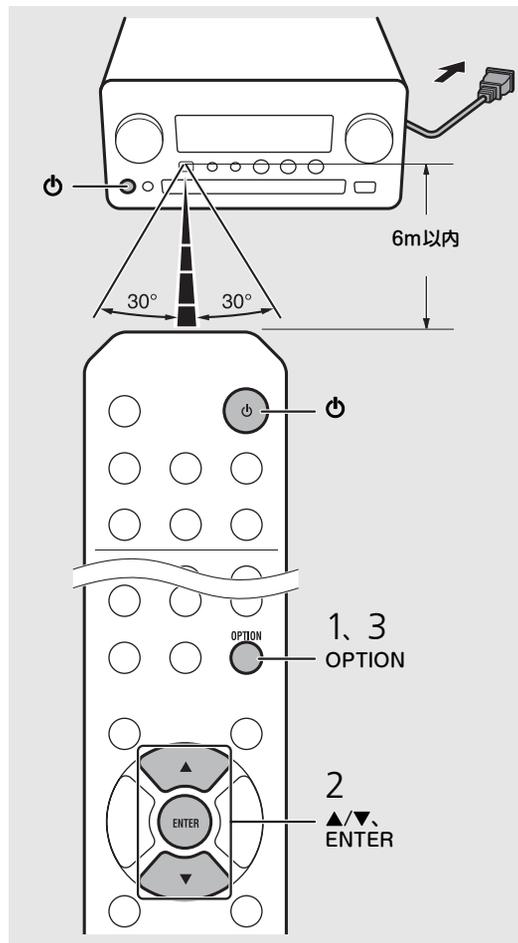
電源を入れる

電源コードをコンセントに差して、**⏻**を押す。

- 「電源オン」になります。
- もう一度**⏻**を押すと電源が切れます(スタンバイ)。
- 本機では、電力消費をより抑えた「エコスタンバイ」が初期設定ですが、制限される動作があります(右表参照)。

エコスタンバイを解除する

- OPTION**を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- エコスタンバイを解除する。
 - [System Config]→[Power Saving]→[Normal]の順で設定します。
 - ▲/▼で項目を変更し、**ENTER**を押して確定します。
- OPTION**を押してオプション設定を終了する。



スタンバイ/エコスタンバイ時の本機の動作

	スタンバイ	エコスタンバイ
iPod/USB機器の充電	○	×
目覚ましタイマーの設定/解除*	○	×
ソースボタン操作*	○	○
CDの挿入/排出	○	○
AirPlay	○	×
アプリによる電源オン	○	×
時計表示	○	×

* リモコン操作のみ

電源に関するオプションメニュー (System Config)

(設定値。太字：初期値)

Power Saving

本機の電力消費を設定します。
(Normal、**Eco**)

Ecoに設定すると、スタンバイ時はディスプレイに何も表示しません。

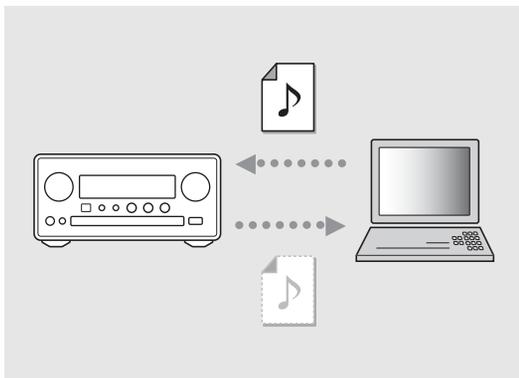
Auto Power Off

何も操作しない状態が続くと自動的にスタンバイ状態になる時間を設定します。
(Timer 2H、Timer 4H、**Timer 8H**、Timer 12H、OFF)

ネットワーク機器の設定をする

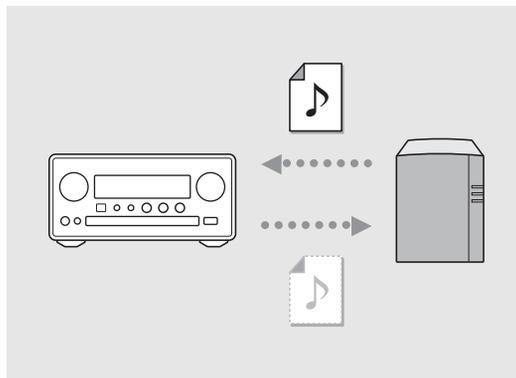
ネットワーク上に接続した機器の音楽ファイルを再生したり、モバイル端末で本機を操作したりするためには、ネットワーク接続後に、各機器の設定をします。

パソコンの設定



パソコンの共有設定を行う (☞ P.17)。

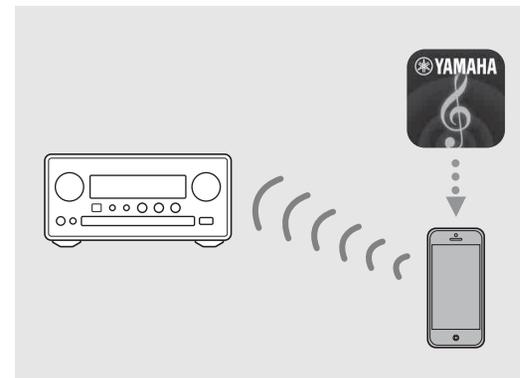
NASの設定



NASの共有設定を行う。

- 必要に応じてNASのDHCP設定を有効にしてください。
- 設定の詳細は、NASに付属している取扱説明書をご覧ください。

モバイル端末の設定



専用アプリ「NETWORK PLAYER CONTROLLER」をモバイル端末にインストールする (☞ P.18)。

- アプリはiPhone/iPad/iPod touchとAndroid機器に対応しています。
- 本機と端末が同じルーターに接続されている必要があります。

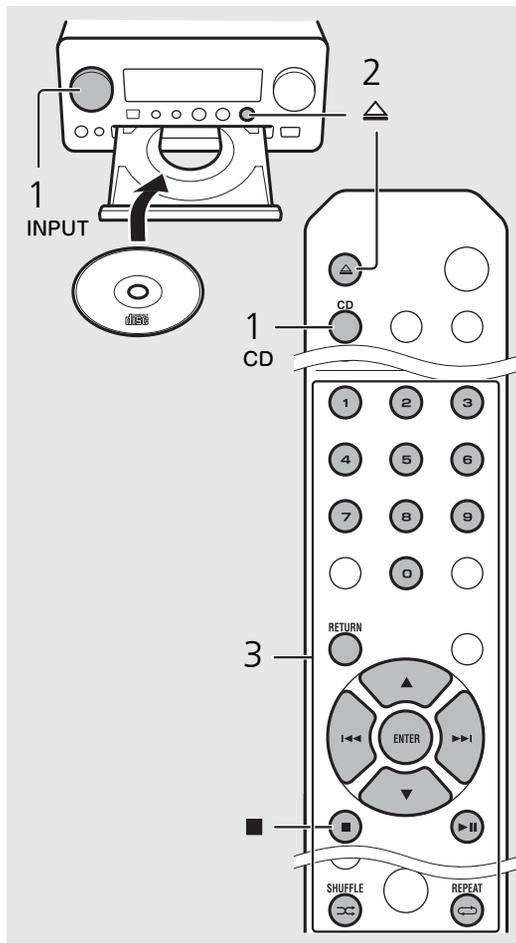
CDの音楽を聴く

本機ではオーディオCDのほかに、MP3/WMAファイルが記録されているデータCDも再生できます。再生できるCDについては、「対応機器/メディア」(P.40)をご覧ください。

- 1 本体のINPUTを回して [CD] を選ぶ。または、リモコンの  を押す。
- 2 CDをセットする。
 - ディスクトレイは  を押して開閉します。
- 3 再生する。

リモコンは以下の通りに機能します。

	MP3/WMA ファイル再生時に、前または次のフォルダの最初のファイルへスキップ
	再生/一時停止
	停止
	再生中の曲の先頭または、前の曲の先頭へスキップ
	次の曲にスキップ
	シャッフル再生 (P.20)
	リピート再生 (P.20)
1~9、0	曲番号の指定
<small>リターン</small> RETURN	数字ボタンで選んだ曲番号の取り消し
<small>エンター</small> ENTER	数字ボタンで選んだ曲番号の確定



- データ CD はファイルをアルファベット順に再生します。
- 再生中のCDを停止した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます (レジューム再生)。再生停止した状態で  を押すと、レジューム再生はクリアされます。

iPod/USB機器の音楽を聴く

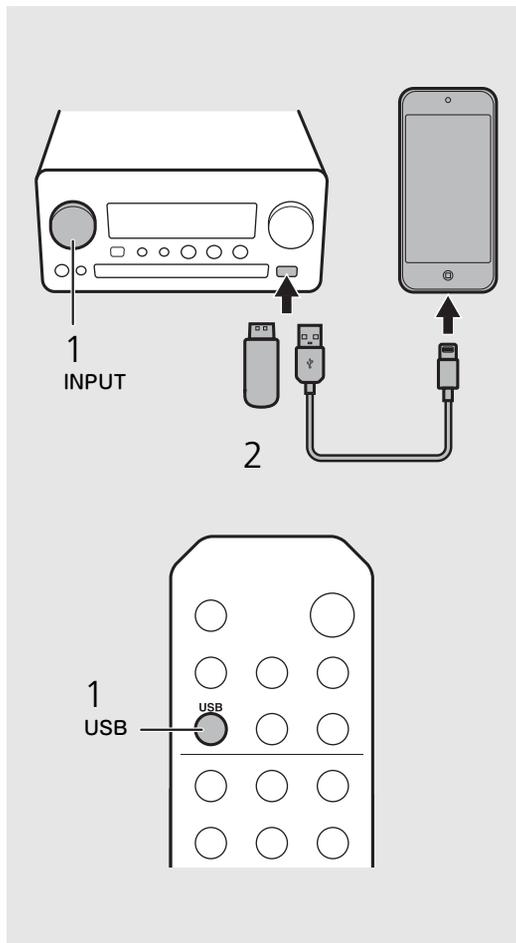
iPodまたは、音楽ファイルが保存されたUSB機器を再生できます。
対応iPod/USB機器については「対応機器/メディア」(P.40)をご覧ください。

■ iPodを再生する

- 1 本体のINPUTを回して [USB] を選ぶ。または、リモコンの^{USB}を押す。
- 2 iPodをUSB端子に接続する。
 - 接続には、iPodに付属しているUSBケーブルをお使いください。
 - ソースが [iPod] に切り替わります。
- 3 再生する (☞ P.16)。

■ USB機器を再生する

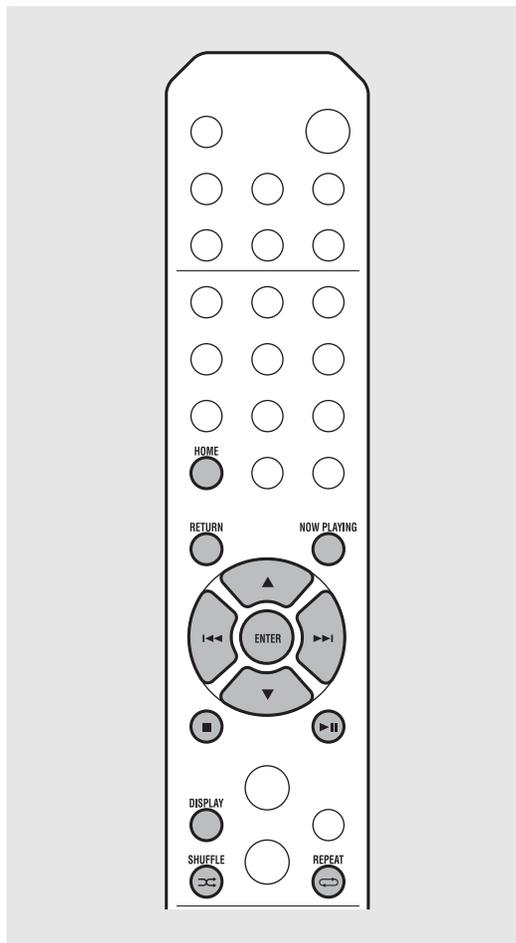
- 1 本体のINPUTを回して [USB] を選ぶ。または、リモコンの^{USB}を押す。
- 2 USB端子にUSB機器を接続する。
- 3 再生する (☞ P.16)。



- ! お使いのiPod/USB機器によっては正常に動作しないことがあります。また、すべてのiPod/USB機器に対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- iPod/USB機器を本機と接続して使用しているときに、iPod/USB機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。データの不具合に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 💡 USB機器を取り外すときは再生を停止してください。
- iPod/USB機器を本機に接続すると充電されます (エコスタンバイ時を除く)。

iPod/USB機器のリモコン操作

	再生中の曲の先頭または、前の曲の先頭へスキップ(iPodの場合、長押しすると早戻し)
	次の曲へスキップ(iPodの場合、長押しすると早送り)
	停止
	再生/一時停止
	シャッフル再生 (☞ P.20)
	リピート再生 (☞ P.20)



iPodの情報表示の切替えについて

- ヤマハのアプリ「NETWORK PLAYER CONTROLLER」でiPodを操作すると、iPodの情報表示が拡張モードに切り替わります。iPodの情報表示モードを変更したいときは、**DISPLAY**キーを長押ししてください。
 - **標準モード**（初期値）：iPod の画面を見ながら、iPodを操作して再生する曲を選びます。
 - **拡張モード**：iPodの情報を本機のディスプレイに表示させてリモコンで操作（ブラウズ）しながら再生する曲を選びます。リモコンは以下の通りに機能します。

	項目を移動
ENTER	選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始
HOME	一番上の階層に移動
RETURN	階層をひとつ戻る
NOW PLAYING	ブラウズを終了し、現在再生しているコンテンツの情報を表示

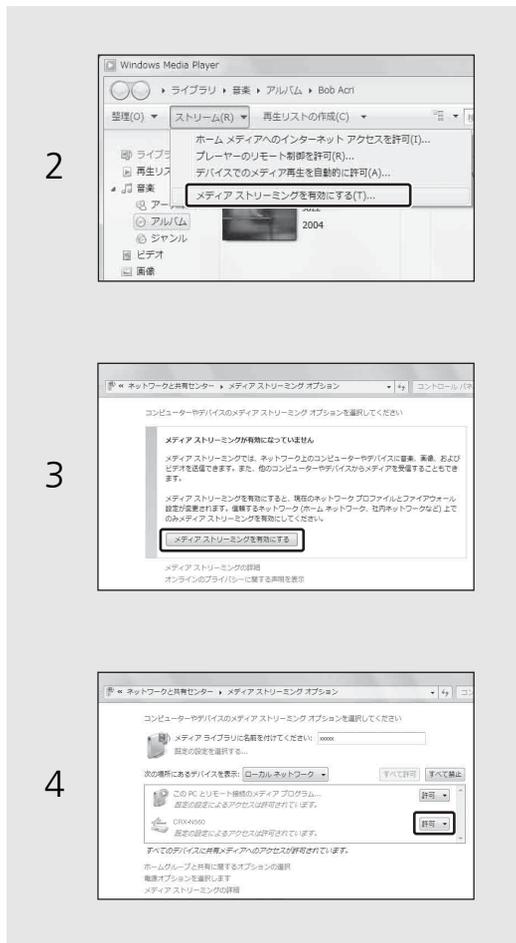
パソコンの曲を聴く

ネットワークにつないだパソコン（サーバー）やNAS内のMP3やWMA、FLAC（音質劣化のない可逆型音声圧縮方式）などの音楽ファイルを本機で再生できます。ディスプレイの表示を確認（ブラウズ）しながら、再生したい音楽ファイルを選んで再生します。

音楽ファイルの共有設定をする

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。ここでは、Windows Media Player 12（Windows 7）を例に説明します。

- 1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。
- 2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。
 - パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。
- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。
- 4 「CRX-N560」右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 5 「OK」をクリックして設定を終了する。



- 共有設定については、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

Windows Media Player 11を使う場合

- 1 パソコンでWindows Media Player 11を起動する。
- 2 「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。
- 3 「メディアを共有する」をチェックし、「CRX-N560」アイコンを選んで「許可」をクリックする。
- 4 「OK」をクリックして設定を終了する。

Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）の場合

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

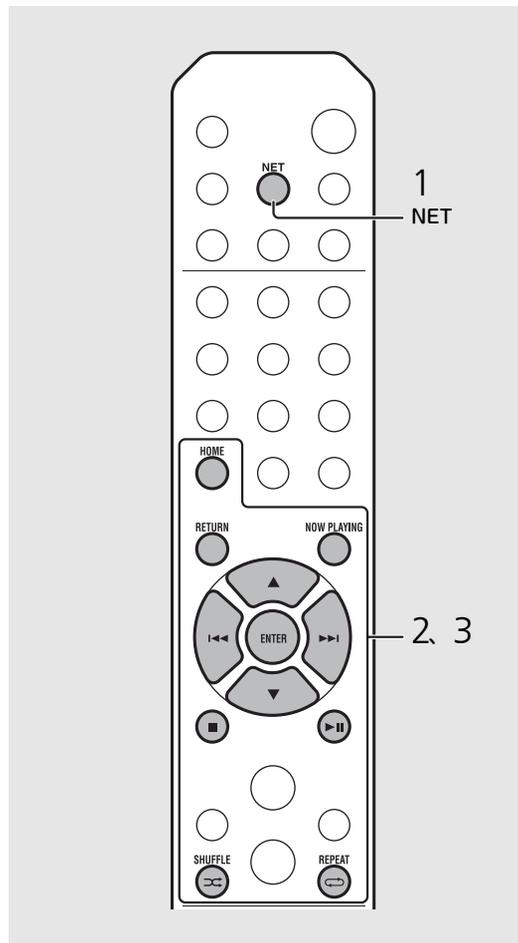
パソコンの曲を再生する

- 1 ^{NET}○を繰り返し押しして [Server] を選ぶ。
- 2 ブラウズ操作して曲を選ぶ。

▲/▼	項目を移動
ENTER	選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始
HOME	一番上の階層に移動
RETURN	階層をひとつ戻る
NOW PLAYING	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示

- 3 再生する。

▶	再生/一時停止
▶▶/◀◀	フォルダ内で曲を前後にスキップ
■	停止
🔀	シャッフル再生 (☞ P.20)
🔄	リピート再生 (☞ P.20)



- 再生できない場合は本機とパソコン（サーバー）が同じルーターに接続されているか確認してください (☞ P.11)

モバイル端末で操作する

ヤマハのアプリ「NETWORK PLAYER CONTROLLER」をお使いのモバイル端末にインストールすると、本機をモバイル端末で操作できます。

- 主な機能
 - 電源のオン/オフ、ボリューム調節などの基本操作
 - 入力ソースの切替え
 - FMチューナーの情報表示
 - 曲の選択や再生、停止
 - 端末内の音楽再生

アプリのダウンロードや最新の情報については、App StoreまたはGoogle Playへアクセスして「NETWORK PLAYER CONTROLLER」を検索してご確認ください。

外部機器の音楽を聴く

DVDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの音楽を再生できます。接続する外部機器によって、接続端子（DIGITAL IN1/2またはAUX1/2）が異なります（☞ P.6）。接続については、接続する外部機器の取扱説明書もご覧ください。

1 電源コードをコンセントから外し、外部機器を本機に接続する。

- 接続には、市販のケーブルをお使いください。

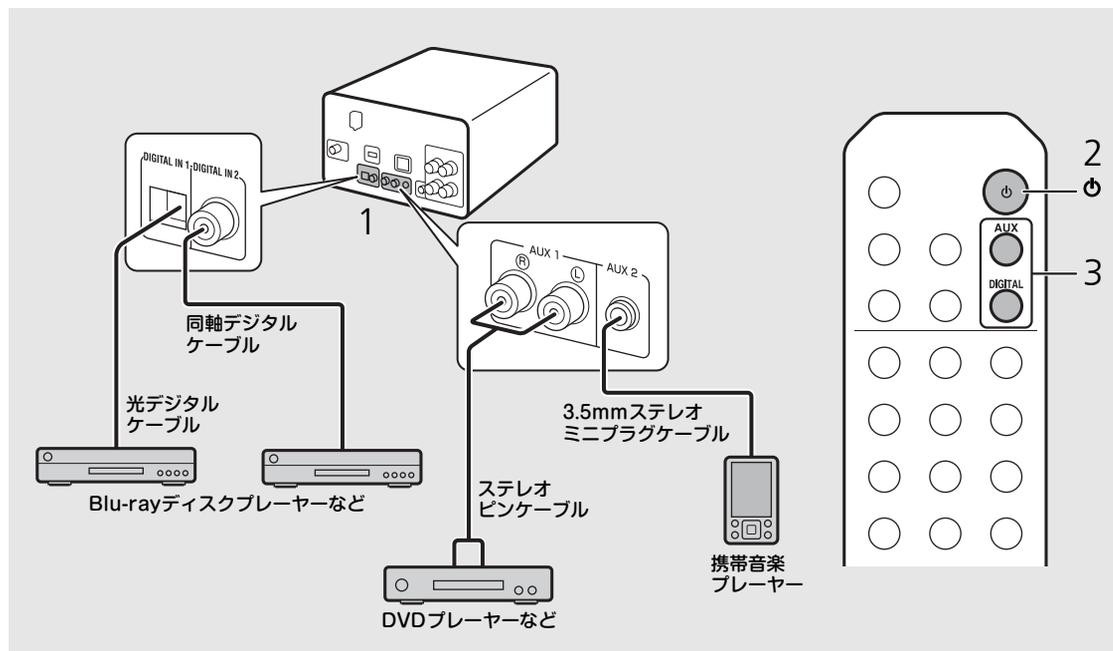
2 電源コードをコンセントに差し込んだあとで、を押して本機の電源を入れる。

3 音楽ソースを切替える。

- 再生したい外部機器の接続端子に応じて、またはのどちらかを押します。
- を押すとAUX1/AUX2（アナログ入力）に、を押すとDIGITAL IN1/DIGITAL IN2（デジタル入力）に切替わります。

4 接続した外部機器を再生する。

- 再生については外部機器に付属されている取扱説明書をご覧ください。



- 接続前に本機と外部機器の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。

音楽をもっと楽しむ

再生中の曲の音質や曲順の変更、音楽情報の確認などを行うことができます。
操作は、パソコン(サーバー)、iPod、USB機器、CDの再生で共通です。

シャッフル(ランダム)再生する

再生中に  を押す。

- 押すたびに、ディスプレイのシャッフルインジケータは以下のように切替わります。

 ALL	シャッフル再生します。*
非表示	シャッフル再生しません。

* シャッフルする範囲は再生しているメディアにより異なります。

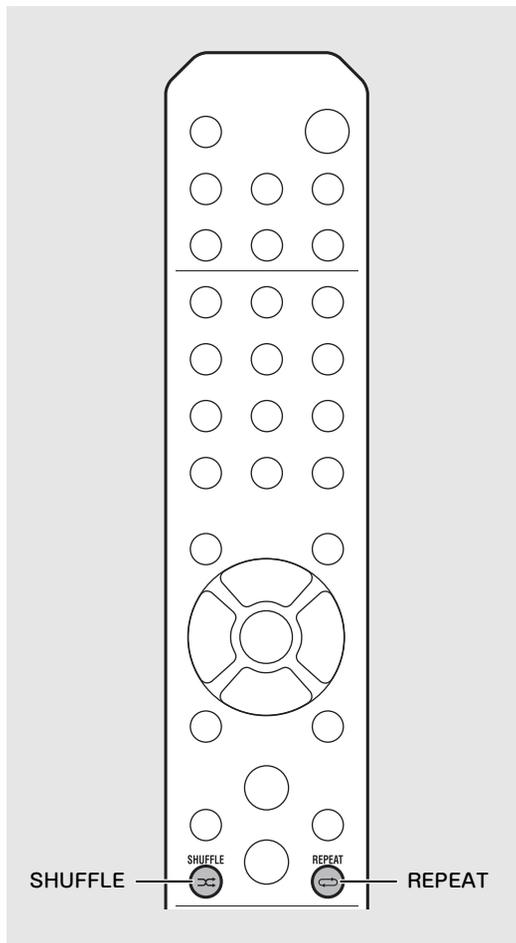
リピート再生する

再生中に  を押す。

- 押すたびに、ディスプレイのリピートインジケータは以下のように切替わります。

 1	再生中の曲をリピート再生します。
ALL 	リピート再生します。*
非表示	リピート再生しません。

* リピートする範囲は再生しているメディアにより異なります。



- シャッフルとリピートを同時に使用することもできます ( 1を除く)。

曲情報を見る

再生中の曲名や再生経過時間などをディスプレイに表示できます。

再生中に  を押す。



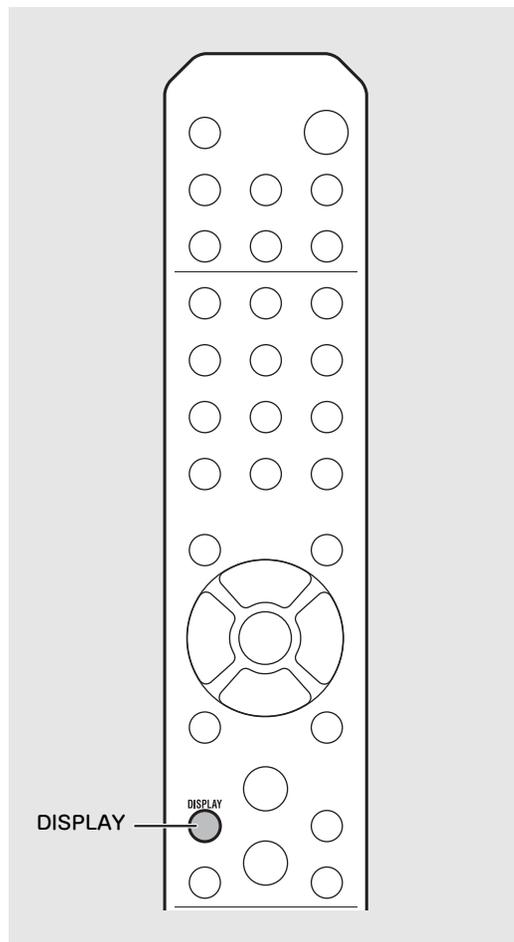
• 押すたびに、表示は以下の順に切替わります。

USB/iPod/AirPlay/ サーバー	CD
曲名*1	再生時間
アルバム名	曲の残り時間*2
アーティスト名	CD全体の残り時間*2
再生時間	曲名*1、*3
	アルバム名*3
	アーティスト名*3

*1 曲名が取得できない場合は、ファイル名を表示することがあります。

*2 オーディオCD再生時のみ。

*3 オーディオCDの場合、選択された曲が各情報を含んでいる時のみ。

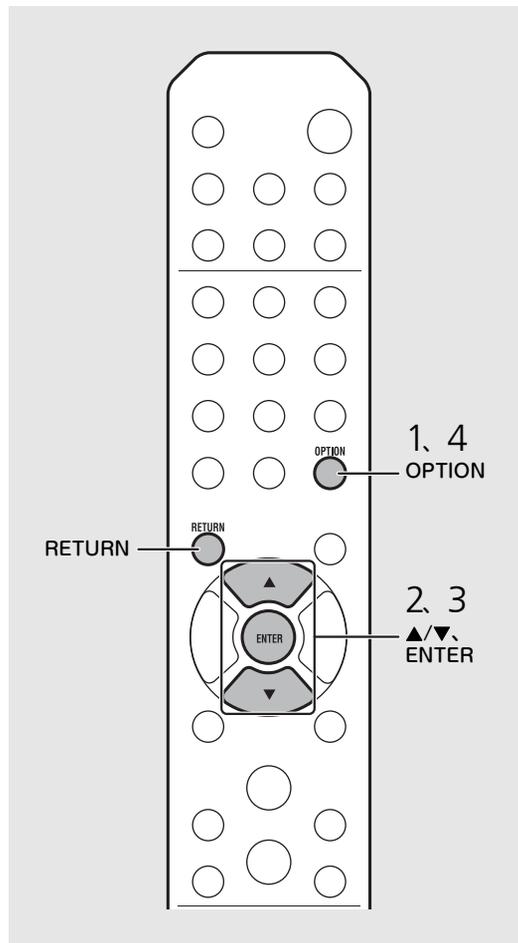


- ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。
- iPodの情報表示モードが標準モード(☞ P.16)のときは表示されません。

音質を調整する

オプション設定から、音質の調整などができます。

- 1** **OPTION** を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- 2** **▲/▼**で設定したい項目を選び、**ENTER**を押す。
- 3** **▲/▼**で設定を変更し、**ENTER**を押す。
 - 設定が確定します。
 - **RETURN**を押すとひとつ前の項目に戻ります。
 - 音質設定をキャンセルするときは **OPTION**を押します。
 - 他の項目を続けて設定するときは、手順2と3を繰り返します。
- 4** **OPTION**を押し、オプション設定を終了する。



音質に関するオプションメニュー

(設定値。太字：初期値)

イコライザー Equalizer

低音 [EQ Low]、中音 [EQ Mid]、高音 [EQ High] を調整します。ヘッドホン使用時も設定は有効です。
(-10 ~ **0** ~ +10)

バランス Balance

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。ヘッドホン使用時は設定は無効です。
(Lch. +10 ~ **--CENTER--** ~ Rch. +10)

ミュージック エンハンサー Music Enhancer

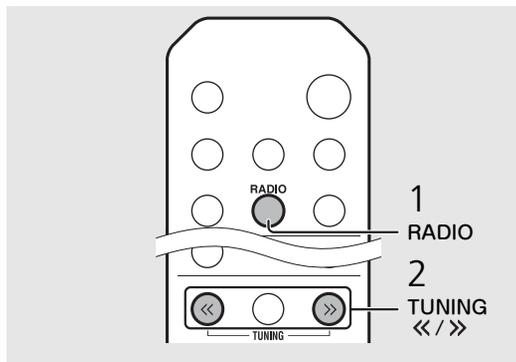
圧縮によって失われた情報を補完します。
(ON、**OFF**)
FLACやWAVなど高音質なソースを再生するときは、[OFF] に設定することを推奨します。オーディオCDは圧縮音源ではないので、[ON] に設定して再生してもMusic Enhancerは無効になります。

FMラジオを聴く

FMラジオを聴くにはアンテナを接続します。
アンテナの接続方法については「アンテナを接続する」(P.10)をご覧ください。

放送局を選ぶ

- 1 **RADIO** を押す。
- 2 **TUNING** (◀/▶) を長押しする。
 - 自動選局が始まり、放送局を受信すると自動的に止まります。



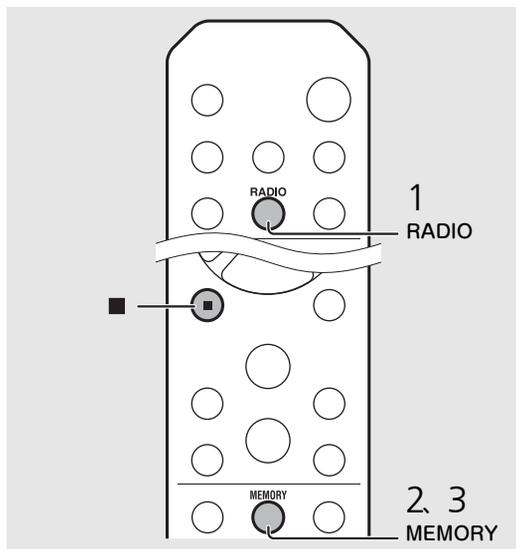
- ラジオの電波を受信しにくいときは、**TUNING** (◀/▶) ボタンを繰り返し押し、手動で選局してください。

放送局を登録する

自動プリセット

放送局を自動で選局し、受信状態の良い放送局のみ自動で登録します。

- 1 **RADIO** を押す。
- 2 **MEMORY** (◻) を2秒以上押す。
- 3 **MEMORY** (◻) を押す。
 - 自動プリセットが始まり、終了するとディスプレイに [Completed!] と表示されます。



- 自動プリセットを実行すると、登録されていたすべての放送局が消去され、新たに放送局が登録されます。



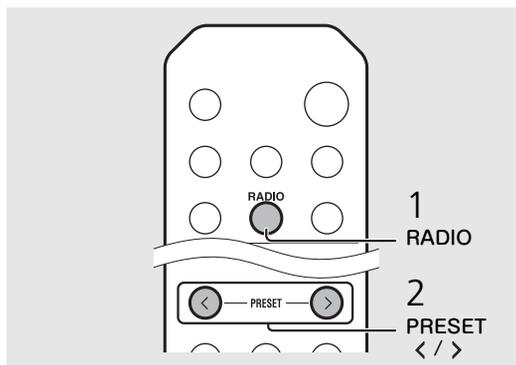
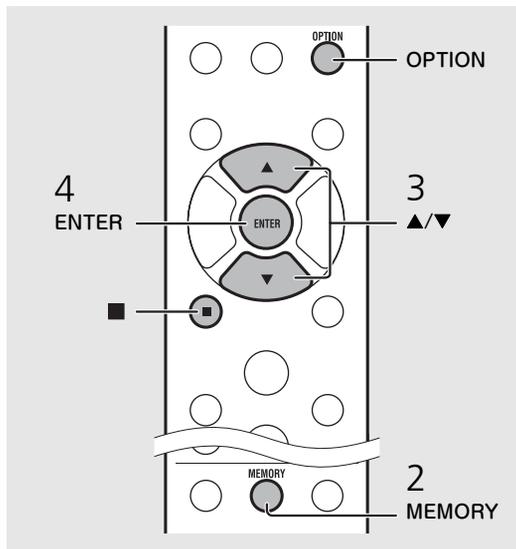
- 放送局は30局まで登録できます。
- 自動プリセットを途中で停止するには ■ を押します。

手動プリセット

- 1 登録したい放送局を選ぶ (☞ P.23)。
 - 2 **MEMORY** を押す。
• ディスプレイにプリセット番号が点滅します。
- 
- 3 ▲/▼ を押して、登録したいプリセット番号を選ぶ。
 - 4 **ENTER** を押し、登録を完了する。

登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)

- 1 **RADIO** を押す。
- 2 **PRESET** (◀/▶) を押して、放送局を選ぶ。



- 手動プリセットを途中でキャンセルするときには **■** を押します。

登録した放送局を削除する

オプション設定を使ってプリセット局を削除します。

- 1 ソースがFMのときに **OPTION** を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
 - プリセット局の削除を中止するときは **OPTION** を押します。
- 2 ▲/▼ を押して [Preset Delete] を選び、**ENTER** を押す。
- 3 ▲/▼ を押して削除するプリセット番号を選ぶ。
- 4 **ENTER** を押す。
 - プリセットが削除され、ディスプレイに [Deleted!] と表示されます。
- 5 **OPTION** を押し、オプション設定を終了します。

インターネットラジオを聴く

インターネット上に配信されている世界中のラジオ放送を本機で聴くことができます。本機がネットワークに正しく接続されているか確認してください (☞ P.11)。

1 ^{NET}  を繰り返し押し続けて [NetRadio] を選ぶ。

2 ブラウズ操作して放送局を選ぶ。

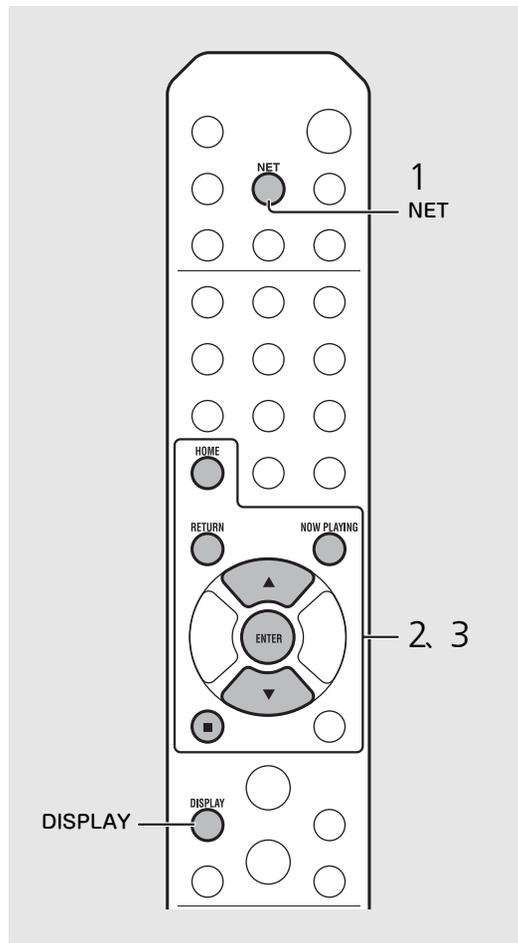


• リモコンは以下の通りに機能します。

▲/▼	項目を移動
ENTER	選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始
HOME	一番上の階層に移動
RETURN	階層をひとつ戻る
NOW	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示
PLAYING	

3 再生が始まります。

• 再生を停止するには  を押します。



• インターネットラジオを再生しているときに **DISPLAY** ボタンを押すと、再生中の情報が表示されます。押すたびに、表示は以下のように切替わります。

ラジオ局名 (初期表示)

曲名

再生時間

• パソコンのウェブブラウザで下記のウェブサイトアクセスすると、Bookmarksフォルダーにお気に入りのインターネットラジオ局を登録できます。

<http://yradio.vtuner.com>

- インターネットラジオ局を登録する前に、本機ですれかのインターネットラジオ局を再生してください。

- 登録に必要なアカウントの作成には本機の vTuner ID (本機のMACアドレス) と電子メールアドレスが必要です。本機の vTuner ID はオプション設定の [Network Info] (☞ P.32) で確認できます。

AirPlayで音楽を聴く

AirPlay機能を使って、iTunesやiPodの音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。
再生の前に、本機とパソコンやiPodが同じルーターに接続されているか（P.11）確認してください。

iPodを再生する

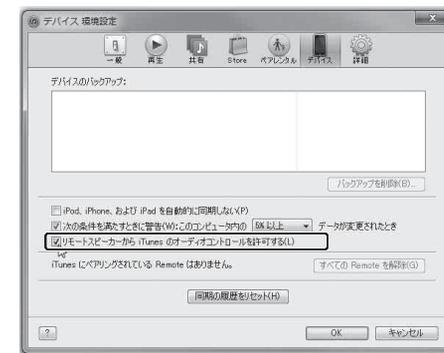
- 1 本機の電源を入れ、iPodの音楽再生画面を表示する。
 - iPodが本機を認識すると、iPodの画面に  が表示されます。
- 2  をタップし、リスト内の本機を選ぶ。
 - 音楽ソースが自動で [AirPlay] に切り替わり、再生が始まります（エコスタンバイ時を除く）。



- iPod/iTunesで音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、本機やスピーカーが故障する場合があります。再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐにiPod/iTunesの再生を停止してください。

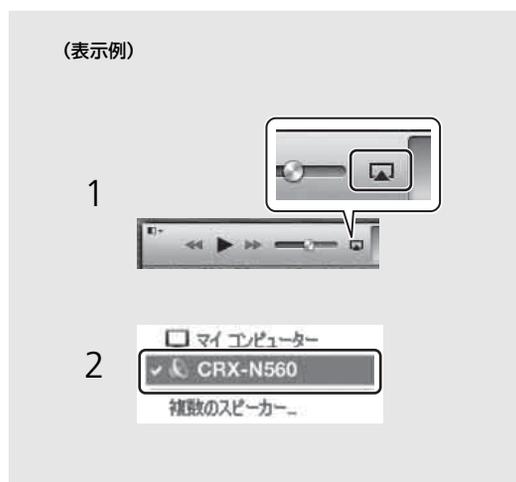


- 再生中は、本機とリモコンでも再生 / 一時停止、停止、曲のスキップ操作ができます。
- iTunes をリモコンで操作するには、iTunesのデバイス設定で、リモートスピーカーからiTunesのコントロールを許可してください。



iTunesを再生する

- 1 本機の電源を入れ、iTunes を起動する。
 - iTunesが本機を認識すると、iTunesの画面に  が表示されます。
- 2  をクリックして、本機を選ぶ。
 - 音楽ソースが自動で [AirPlay] に切り替わります（エコスタンバイ時を除く）。
- 3 iTunesで曲を再生する。



AirPlayを解除する

- iPod/iTunesの画面で  をタップ/クリックし、スピーカーリストで本機以外の再生機器を選びます。または、音楽ソースをAirPlay以外にしてください。

時計を使う

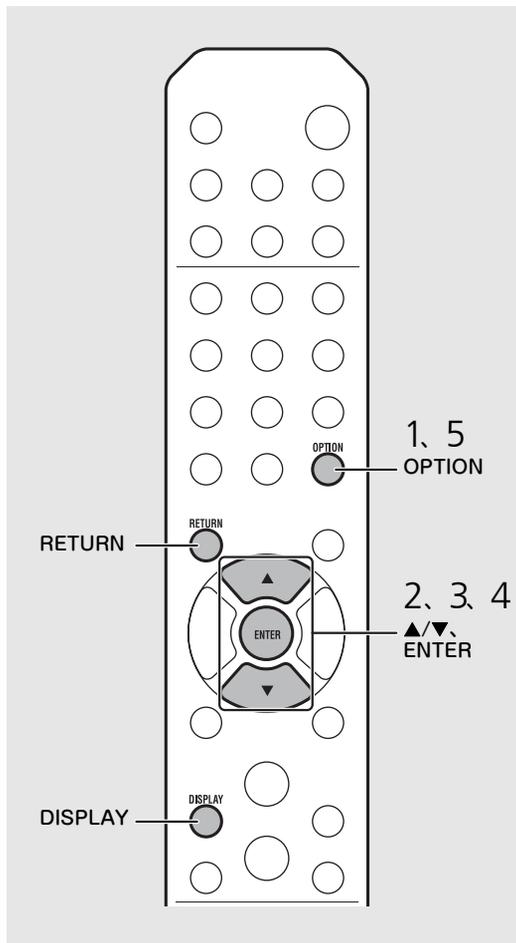
時計を設定すると、目覚まし時計代わりに好みの音楽やラジオをかけることができます。

時計を合わせる

- 1 **OPTION** を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- 2 **▲/▼**で [System Config] を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **▲/▼**で [Clock Setting] を選び、**ENTER** を押す。



- 4 日付、時刻を合わせる。
 - **▲/▼**で設定を変更し、**ENTER**を押して確定します。
 - 年→月→日→時→分の順で設定します。
 - 途中で設定をキャンセルするときは、**RETURN** を押します。
 - 設定が完了すると、[Completed!] と表示されます。
- 5 **OPTION** を押してオプション設定を終了する。



- ! 電源コードをコンセントから抜いて1週間ほど経過すると時計はリセットされます。時計を再設定してください。
- 💡 設定中に**DISPLAY**ボタンを押すと、時間表示(12時間/24時間)を切替えられます。

目覚ましタイマー

設定した時刻に目覚まし音（ピピピ）、または音楽が再生されます。

1 ^{TIMER} を長押しする。

- ディスプレイに [Timer Setting] と時刻が表示され、 と時が点滅します。



2 下記の項目①から③を設定する。

- ▲/▼ を押して設定値を選び、^{ENTER} を押して確定します。
- ディスプレイは次の項目に切替わります。
- 途中で設定をキャンセルする場合は ^{OPTION} を押します。

① 起動時刻

時と分を設定します。

② 音量

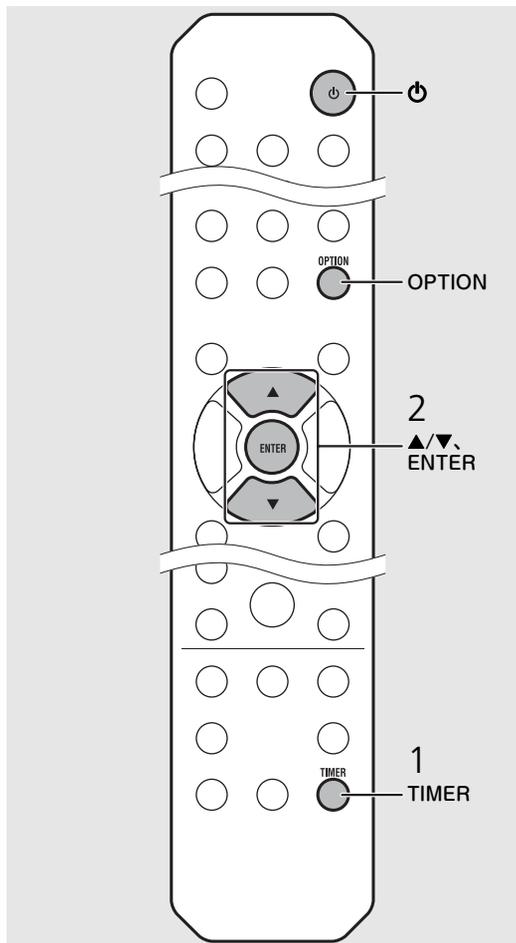
「5」～「59」、「MAX」を指定できます。

③ 繰り返し

Repeat：毎日設定時刻に鳴ります。

No Repeat：1回のみ鳴ります。

次ページへつづく➡



- 時計を設定してから目覚ましタイマーを設定してください。
- オプション設定の [Power Saving] が [Eco] に設定されていると目覚ましタイマーは使えません。[Normal] に設定してください (P.12)。



- オプション設定からも目覚ましタイマーを設定できます。

- ^{OPTION} を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- ▲/▼ を押して [Timer Setting] を選び ^{ENTER} を押す。
- 左の手順2を操作をする。
- ^{OPTION} を押し、オプション設定を終了する。
- 音楽ソースをセットし、再生した状態で ^{PLAY} を押す。

- 設定が完了すると、[Completed!] と表示され、 が点灯します。



3 を押す。

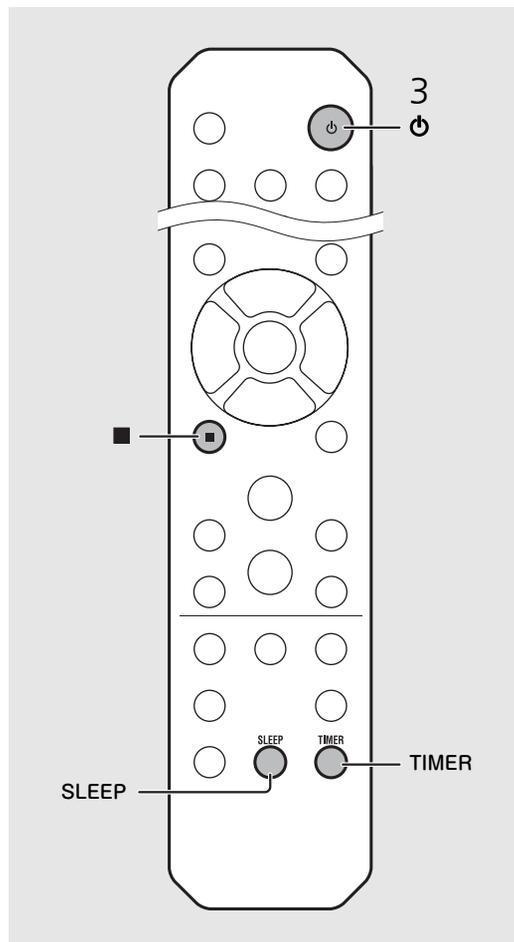
- 本機がスタンバイになり、設定時刻に目覚まし音が再生されます。
- 設定時刻に音楽を再生したい場合は、この手順で  を押す前に、音楽ソースをセットし再生してください。音楽ソースの詳細については、右側の「*」をご覧ください。

スリープタイマー

本機が自動的にスタンバイ状態になる時間を設定できます。

を繰り返し押し、時間を選ぶ。

- 時間は30/60/90/120分、OFFから選べます。
- 時間を選択後しばらく経過すると  が点灯し、スリープタイマーが設定されます。
- スリープタイマーを解除するには、もう一度  を押します。



- 目覚ましタイマー設定後に音楽ソースを本機から外したときは、設定時刻に「ピピピ」という音が鳴ります。
- 目覚ましタイマー起動時刻に音楽ソースが再生されている場合は  が点滅し、再生が継続されます。
- 目覚ましタイマー設定後、電源オンのときに **TIMER** ボタンを押すと、目覚ましタイマーのオン/オフを切替えられます。
- 目覚まし音（ピピピ）を停止するには、 または  を押します。目覚まし音を停止しない場合は、60分後に自動的に停止します。

* 音楽ソースがAUX、Server、DIGITAL IN、AirPlayの場合は、設定時刻に目覚まし音（ピピピ）が再生されます。

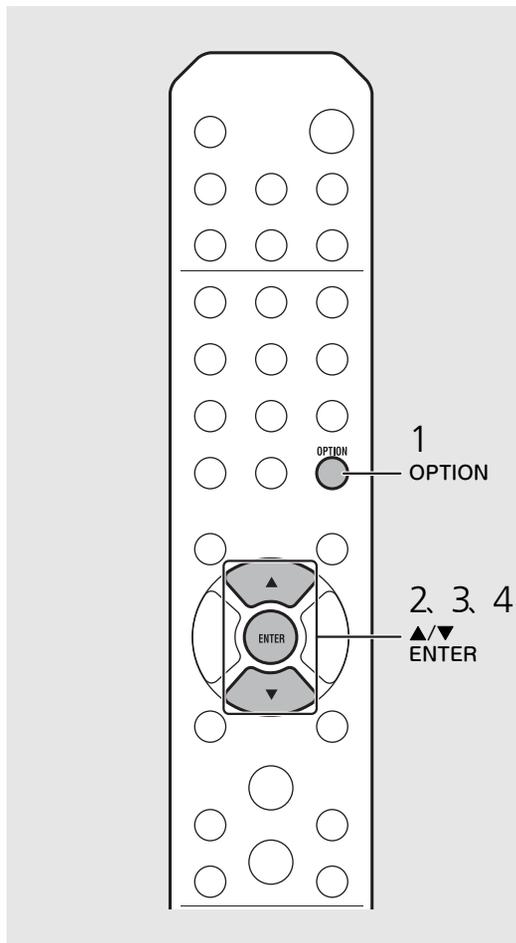
ファームウェアを更新する

本機のファームウェアが新しくなると、更新を促すメッセージが表示されます（本機がインターネットに接続されている場合のみ）。ここでは、オプション設定を使ってネットワーク経由で更新する方法を説明します。

- 1 **OPTION** を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- 2 **▲/▼**で [System Config] を選び **ENTER** を押す。
- 3 **▲/▼**で [Firm Update] を選び **ENTER** を押す。
- 4 **▲/▼**で [Network] を選び **ENTER** を押す。
 - 更新が始まります。

A screenshot of the device's LCD screen. The text on the screen reads "NET UPDATE" on the first line and "S2:Writing 56%" on the second line. The background is dark with light-colored text.

- 更新が終了すると [Update success.]、[Please...]、[power off!] の順に表示されます。
- 5 コンセントからプラグを抜き、30秒ほど待ってからプラグをコンセントに差し込む。
 - 本機に更新が反映されます。



- ! **ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。**
- 💡 **一旦更新を促すメッセージが表示されると、更新をしない場合でもメッセージは再度表示されません。ただし、電源コードを抜いてしばらくたってから電源をオンにした場合は表示されます。**
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、ワイヤレスネットワークアダプターを介して本機を無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。その場合は、時間をおいてもう一度更新をお試しいただくか、USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください。ファームウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。

USBを使用して更新するには

更新用データを保存したUSBメモリーをUSB端子に接続して更新します。

- 左の手順4で「USB」を選んで更新する。

オプション設定

オプション設定では、本機のさまざまな項目の設定ができます。

1 を押す。

- オプションメニューが表示されます (☞ P.32)。

2 ▲/▼で設定したいオプションメニューを選び、 を押す。

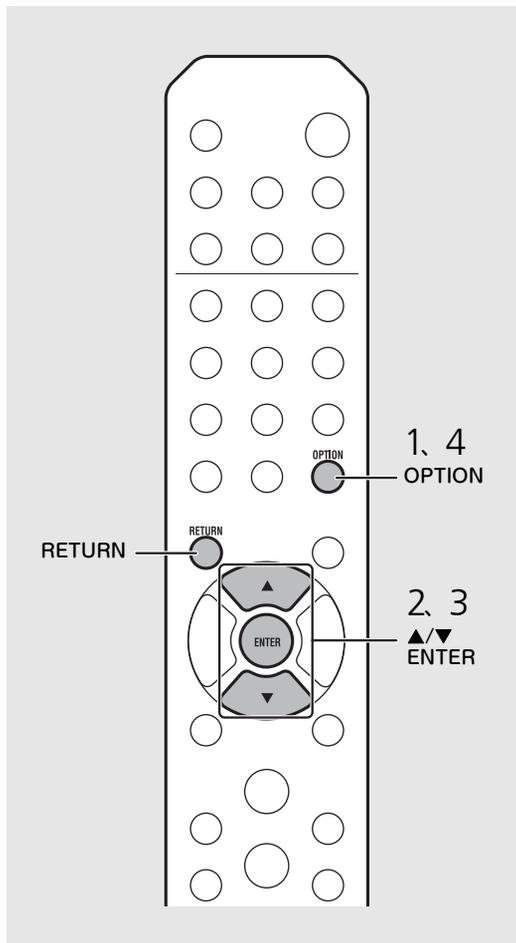


OPTION
Network Config

3 ▲/▼で設定を変更し、 を押す。

- サブメニューがある場合は、手順3を繰り返します。
-  を押すと、設定をキャンセルしてひとつ上の階層に戻ります。
- 続けて他の項目も設定するときは、手順2～3を繰り返します。

4 を押して、オプション設定を終了する。



- オプションメニューの [Advanced Setup] を設定するときは、本体の  (停止ボタン) を押しながりモコンの **OPTION** ボタンを押し、手順3に進みます。

オプションメニュー一覧

メニュー	サブメニュー	初期値	説明
Preset Delete* (☞ P.24)			プリセット局を削除
Equalizer (☞ P.22)	EQ Low	0	低音の設定
	EQ Mid	0	中音の設定
	EQ High	0	高音の設定
Balance (☞ P.22)		CENTER	左右のスピーカーの音量バランス調整
Music Enhancer (☞ P.22)		OFF	Music Enhancerのオン/オフの切替え
Timer Setting (☞ P.28)			目覚ましタイマーを設定
Network Info	Network Status		ネットワーク端子の接続状態を確認
	MAC address		MACアドレスの確認
	System ID		システム認識番号の確認
	Network Name		ネットワーク表示名の確認
Network Config	DHCP Enabled	YES	DHCPの有効/無効の切替え
	IP Address	0.0.0.0	IPアドレスの確認/設定
	Subnet Mask	0.0.0.0	サブネットマスクの確認/設定
	Def. Gateway	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイの確認/設定
	DNS Server(P)	0.0.0.0	プライマリDNSサーバーの確認/設定
	DNS Server(S)	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバーの確認/設定

メニュー	サブメニュー	初期値	説明
System Config	Clock Setting		時刻設定 (☞ P.27)
	Power Saving	Eco	エコスタンバイの設定 (☞ P.12)
	Auto Power Off	Timer 8H	自動的に本機をスタンバイにする設定 (☞ P.12)
	Use Accessory	NO	DC OUT端子に接続したヤマハ製アクセサリに電源を供給する/しないの切替え
	Firm Version		本体ファームウェアのバージョンを表示
	Firm Update	Network	本体ファームウェアの更新(☞ P.30)
Advanced Setup (☞ P.31)	Mac Add.Filter	OFF	MACアドレスを指定して (最大5個)、本機にアクセスできるネットワーク機器を制限します。 ([Mac Add.Filter] を [ON] にしても AirPlayによる操作は制限されません)
	Factory Reset		本機を工場出荷状態にリセット

* ラジオ再生中のときのみ表示

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

最初に、各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されているかご確認ください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。
電源が切れない。	外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	本体前面のⓂ（電源）キーを10秒以上押し続けて本機を再起動してください（問題が解決しない場合は、コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約30秒後に再度差し込んでください）。
スピーカーから音が出ない。	再生したい音楽ソースが正しく選ばれていない。	本体のINPUTやリモコンのソースボタンで再生したい音楽ソースを選びなおしてください（☞ P.5、8）。
	スピーカーがしっかりと接続されていない。	スピーカーの接続を確認してください（☞ P.9）。
	音量が最小またはミュートになっている。	音量を大きくしてください。
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた（☞ P.29）。 Auto Power Offを設定していた（☞ P.12）	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
時刻の設定内容が消えた。	電源コードがコンセントから抜かれた。または、停電があった。	電源コードをコンセントに差し込み、時刻を再設定してください（☞ P.27）。
片側のスピーカーから音がほとんど出ない。	再生機器やスピーカーがしっかりと接続されていない。	再生機器やスピーカーの接続を確認してください（☞ P.9、19）。接続に問題がないときは、ケーブルに不具合がある場合があります。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	操作範囲内からリモコンを操作してください（☞ P.12）。
	本機のリモコン信号受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）があたっている。	照明または、本体の向きや置き場所を変えてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください（☞ P.4）。
	リモコンと本機の間には障害物がある。	障害物を取り除いてください。

ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報 (IPアドレス) が正しく取得されていない。	ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機のオプション設定の [Network Config] で、[DHCP Enabled] を [YES] に設定してください。DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機のIP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください (☞ P.32)。
再生が停止してしまう (連続して再生できない)。	本機が再生できないファイルが存在する。	再生するフォルダーには、本機が再生できないファイル (画像ファイルや隠しファイルなどを含む) を入れないでください。
	メディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください (☞ P.17)。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	セキュリティソフトの設定をご確認ください。
パソコンが検出されない。	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
	MACアドレスフィルターが有効になっている。	本機のオプションメニューの [Advanced Setup] で、[MAC Add.Filter] を [OFF] に設定してください (☞ P.32)。
	お使いのパソコンが、マルチSSID対応のルーターのセカンダリに接続されている。	セカンダリに接続されている場合、プライマリSSIDや有線LANに接続している機器へのアクセスが制限されます (インターネットへのアクセスのみ可能)。プライマリに接続してください。
	使用しているネットワーク機器間で、複数のルーター (2重ルーター) が接続されている。	一時的にインターネット接続を外し、ローカルネットワークを確認し、使いたいネットワーク機器を同じルーターに接続してください。
パソコンのファイルが表示 (再生) されない。	本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください (☞ P.41)。
本機で再生できない音楽ファイルがある。	iTunes Storeで購入した著作権保護 (DRM) 付き音楽ファイルを再生しようとしている。	iTunes Storeで購入した著作権保護 (DRM) 付き音楽ファイルは再生できません。

症状	原因	対策
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。
モバイル端末の専用アプリケーションで本機が検出されない。	MAC アドレスフィルターが有効になっている。	オプションメニューの[Advanced Setup]で、[MAC Add.Filter]を[OFF]にするか、使用するモバイル端末のMACアドレスを指定してください(☞ P.32)。
	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
	お使いのモバイル端末が、マルチSSID対応のルーターのセカンダリに接続されている。	セカンダリに接続されている場合、プライマリSSIDや有線LANに接続している機器へのアクセスが制限されます(インターネットへのアクセスのみ可能)。プライマリに接続してください。
	使用しているネットワーク機器間で、複数のルーター(2重ルーター)が接続されている。	一時的にインターネット接続を外し、ローカルネットワークを確認し、使いたいネットワーク機器を同じルーターに接続してください。
ネットワーク経路によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。またはUSB メモリーを使ってファームウェアを更新してください(☞ P.30)。

iPod

症状	原因	対策
iPod の音が出ない。	iPodが正しく接続されていない。	iPodを接続しなおしてください (☞ P.15)。
	iPod のソフトウェアが最新バージョンになっていない。	アップル社のウェブサイトから最新のiTunesソフトウェアをダウンロードし、iPod のソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
	iPodとの接続を確認中です。	接続が完了するまでしばらくお待ちください。
iPod、本機またはリモコンでiPodの操作ができない。	本機が対応していないiPod が接続されている。	お使いのiPodが本機に対応しているか確認してください(☞ P.40)。
	iPodが正しく接続されていない。	iPodを接続しなおしてください (☞ P.15)。
	iPod のソフトウェアが最新バージョンになっていない。	iPod のソフトウェアを最新バージョンにアップデートしてください。最新のソフトウェアにアップデートしても解決されないときは、iPod をリセットしてください。
	iPodの情報表示モードが標準モードのときは、本機やリモコンで操作できません。拡張モードのときは、iPod本体で操作できません。	情報表示モードを確認してください (☞ P.16)。
再生情報がディスプレイに表示されない。	使用しているiPod が再生情報表示ディスプレイに対応していない。	この機能は、本機が対応しているiPod (☞ P.40) でのみ有効です。
	iPodの情報表示モードが標準モードになっている。	情報表示モードを拡張モードに切替えてください (☞ P.16)。
iPodが充電されない。	iPodが正しく接続されていない。	iPodを接続しなおしてください (☞ P.15)。
	本機が対応していないiPod が接続されている。	お使いのiPodが本機に対応しているか確認してください(☞ P.40)。
	本機がエコスタンバイモードになっている。	オプション設定で [Power Saving] を [Normal] にしてください (☞ P.12)。

ディスク

症状	原因	対策
ディスクをセットしても再生されない。特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (☞ P.40)。

症状	原因	対策
本体の▶/⏏または、リモコンの▶ を押しても再生が始まらない(すぐに停止する)。	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください (☞ P.40)。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (☞ P.40)。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を1~2時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。

USB機器

症状	原因	対策
USB機器が認識されない。	USB 機器がUSB端子に正しく接続されていない。	本機の電源を切り、USB機器を接続しなおしてください (☞ P.15)。
	FAT16/32フォーマット以外のUSB 機器を使用している。	FAT16/32フォーマットのUSB 機器を使用してください。
USB機器のフォルダやファイルが表示されない。	暗号化機能によりUSB機器内のデータが保護されている。	暗号化機能のないUSB機器を使用してください。

ラジオ

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多く聴きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナの接続を確認し、固定位置を調整してください (☞ P.10)。
	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。 手動で選局してください (☞ P.24)。
プリセット選局ができない。	メモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再登録してください (☞ P.23、24)。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
FM専用アンテナや屋外アンテナを使用しても、音が歪むなど受信感が悪い。	マルチパス（多重反射）などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

ディスプレイの表示メッセージ

表示	内容	対策
Unknown	iPodとの通信に問題が発生している。	iPod を接続しなおしてください。
	本機に対応していないiPod/USB機器が接続されている。	本機に対応しているiPod/USB機器をご使用ください（☞ P.40）。
	iPodのソフトウェアが最新バージョンになっていない。	アップル社のウェブサイトから最新のiTunesソフトウェアをダウンロードし、iPodのソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
Timer not work	エコスタンバイモードになっている。	オプション設定の[Power saving]を[Normal]に設定してください（☞ P.12）。
Overcurrent	非対応のiPod/USB機器が接続された。 iPod/USB機器が正しく接続されていない。	iPod/USB機器を接続しなおし、本機の電源を入れなおしてください。USB機器で再度同じ症状が現れた場合は、接続されたUSB機器は使用できません。
Unplugged	iPod/USB機器が確実に接続されていない。	一旦iPod/USB機器を本機から取り外し、接続しなおしてください（☞ P.15）。
No Disc	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクが本機に対応しているか確認してください（☞ P.40）。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクの汚れを拭きとってください。または、付着した異物を取り除いてください。
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクはラベル面を上にしてセットしてください。
No Songs	再生可能なファイルがディスクに入っていない。	再生可能なファイルが入っているディスクをセットしてください（☞ P.40）。
Initializing	本機が起動中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。3分以上経過しても消えない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
Loading...	指定されたファイル/コンテンツを読み込み中です。	読み込みが終わるまでしばらくお待ちください。

表示	内容	対策
No Content	再生可能なファイルが選択したフォルダに入っていない。	再生可能なファイルが入っているフォルダを選択してください (☞ P.41)。
Not Connected	本機がインターネットに接続されていない。	インターネット接続を確認してください。
Unsupported	本機で再生できないファイルを再生しようとしている。	ファイルが本機に対応しているか確認してください (☞ P.41)。
No Operation	オプション設定中にディスクトレイを開けようとした。	ディスクトレイはオプション設定を終了してから開けてください。
Access Denied	パソコン (サーバー) がアクセスを拒否している。	本機がパソコン (サーバー) のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください (☞ P.17)。
Access Error	USB 機器にアクセスできない。	本機の電源を切り、USB 機器を接続しなおしてください。それでもエラーが表示される場合は、別のUSB機器に音楽ファイルを移動して再生してください。
	iPodにアクセスできない。	iPodの電源を入れなおしてください。
	非対応のiPodが接続されている。	対応しているiPodをご利用ください (☞ P.40)。
Version Error	ネットワーク経路に問題が発生している。	ルーターおよびモデムの電源が入っていることを確認してください。本機とルーター (またはハブ) が正しく接続されているか確認してください (☞ P.11)。
	ファームウェアの更新に失敗している。	再度ファームウェアを更新してください。

対応機器/メディアとファイル形式

対応機器/メディア

パソコン

Windows Media Player 11かWindows Media Player 12がインストールされたパソコン。

NAS

DLNAバージョン1.5に対応したNAS。

USB機器

- 本機で再生できるUSB機器は、USBマストレージクラスに対応し、データがFAT16またはFAT32ファイルシステムで記録されているフラッシュメモリ、ポータブルオーディオプレーヤーです。
- USBマストレージクラス以外の機器(USBチャージャーやUSBハブ)、PC、カードリーダー、外付けHDDなどは本機に接続できません。
- 暗号化機能付きのUSB機器は使用できません。

iPod

iPod	iPod touch (第1、第2、第3、第4、第5世代)、iPod nano (第2、第3、第4、第5、第6、第7世代)
iPhone	iPhone 5、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPhone
iPad	iPad(第4世代)、iPad mini、iPad(第3世代)、iPad 2、iPad

(2013年8月現在)

ご注意

iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

ディスク

- 本機は下記のロゴがついた音楽 CD、CD-R/RW (ISO9660フォーマット) を再生できます。

音楽CD



CD-R/RW*



* 次のいずれかの表示があるもの。

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

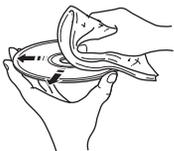
- 本機は8cmディスクの再生ができます。ディスクトレイの内側のくぼみに8cmディスクをセットしてください。

ディスクに関するご注意

- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていないCD-R/RWディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 一部のCD-R/CD-RWディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスク、ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。

ディスクの取り扱い

- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- ディスクのラベル面に文字を書くときは、先の柔らかいペンなどを使用してください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけたりしないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ディスク以外のものをディスクトレイにセットしないでください。
- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ向かって拭いてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ディスクを使用していないときは、本機からディスクを取り出し適切なケースに入れて保管してください。

ファイル形式

本機に対応しているファイル形式は以下の通りです。

DLNA/USB

- WAV (PCMフォーマットのみ)、MP3、WMA、MPEG-4 AAC、FLAC ファイルに対応しています (1~2チャンネル音声のみ再生可能)。
- WAVおよびFLACファイルは192kHzまで、その他のファイルは48kHzまでのサンプリング周波数に対応しています。
- FLAC ファイルを再生するには、パソコン (サーバー) にインストールされているサーバーソフトが、DLNAを使ったFLACファイルの共有に対応している必要があります。
- DRM (デジタル著作権管理) により保護されたファイルは再生できません。

ディスク

- MP3、WMAファイル(サンプリング周波数は48kHzまで) に対応しています。
- MP3ファイルは8~320kbps、WMAファイルは16~320kbpsの固定および可変ビットレートに対応しています。
- 最大で512のファイル、255のフォルダー (1フォルダー内、最大で511のファイル) を再生できます。
- DRM (デジタル著作権管理) により保護されたファイルは再生できません。

主な仕様

プレーヤー部

CD	再生メディア		CD、CD-R/RW
	オーディオフォーマット		オーディオCD、MP3、WMA
	レーザー	タイプ	半導体レーザー GaAs/GaAlAs
		波長	790 nm
出力		10 mW	
iPod (デジタル 接続)	対応iPod		40ページをご覧ください
	対応iPhone		
	対応iPad		
USB	再生フォーマット		MP3、WMA、MPEG4 AAC、WAV*、FLAC* * 192 kHz/24 bitまで
AUX IN	入力端子	AUX1	ステレオ L/R: RCAジャック
		AUX2	3.5mm ステレオミニジャック
DIGITAL IN	入力端子	DIGITAL IN1	OPTICAL
		DIGITAL IN2	COAXIAL
ネット ワーク	インターフェース		100Base-TX/10Base-T
	インターネットラジオ		vTuner対応
	PCクライアント機能		DLNA Ver. 1.5 (DMP/DMR)対応
	再生フォーマット		MP3、WMA、MPEG4 AAC、WAV*、FLAC* * 192 kHz/24 bitまで
	AirPlay		AirPlay対応

チューナー部

受信FM周波数範囲	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
-----------	---------------------

アンプ部

最大出力	32 W + 32 W (6 Ω、1 kHz、10% THD)
全高調波歪率 AUX1 1 kHz/12.5 W	0.05%以下
EQ特性	EQ High(高音)/EQ Mid(中音)/EQ Low(低音) : ±10 dB
ヘッドホン端子	ステレオL/R: 3.5mmステレオミニジャック 適応インピーダンス: 16 Ω ~ 32 Ω

総合

電源電圧/周波数	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	44 W
スタンバイ時消費電力	6 W以下
エコスタンバイ時消費電力	0.5 W以下
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	215 mm × 110 mm × 288 mm
質量	2.7 kg

(2013年8月現在)

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ソフトウェア情報

以下は本機で正在しているソフトウェアに関する表示です。権利者の要請により英語原文を掲載しております。

This product uses the following free software. For information (copyright, etc) about each software, read the original sentences stated below.

● About ASN.1 object dumping code

ASN.1 object dumping code, copyright Peter Gutmann <pgut001@cs.auckland.ac.nz>, based on ASN.1 dump program by David Kemp <dpkemp@missi.ncsc.mil>, with contributions from various people including Matthew Hamrick <hamrick@rsa.com>, Bruno Couillard <bcouillard@chrysalis-its.com>, Hallvard Furuseth <h.b.furuseth@usit.uio.no>, Geoff Thorpe <geoff@raas.co.nz>, David Boyce <d.boyce@isode.com>, John Hughes <john.hughes@entegrity.com>, Life is hard, and then you die <ronald@trustpoint.com>, Hans-Olof Hermansson <hans-olof.hermansson@postnet.se>, Tor Rustad <Tor.Rustad@bbs.no>, Kjetil Barvik <kjetil.barvik@bbs.no>, James Sweeny <jsweeny@us.ibm.com>, and several other people whose names I've misplaced.

This code grew slowly over time without much design or planning, with features being tacked on as required.

It's not representative of my normal coding style.

● About FLAC codec Library

Copyright ©
2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh
Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

● About libexpat

Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

● About The Independent JPEG Group's JPEG software

The Independent JPEG Group's JPEG software

Copyright © 1991-2010, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding.

All Rights Reserved except as specified below.

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose.

This software is provided “AS IS”, and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that “this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group”.
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author’s name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as “the Independent JPEG Group’s software”.

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

● About JsonCpp

Copyright © 2007-2010 Baptiste Lepilleur

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

● About Network

Copyright © 1988 Stephen Deering.

Copyright © 1992, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Copyright © 1985, 1986, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- (1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- (2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- (3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

- (4) Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright © 1982, 1986 Regents of the University of California.

All rights reserved.

Copyright © 1982, 1986, 1988 Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

● About PNG Reference Library

ibpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.4.5, December 9, 2010, are Copyright © 2004, 2006-2010 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright © 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.
For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- (1) The origin of this source code must not be misrepresented.
- (2) Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
- (3) This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

● About RC4 Algorithm

Copyright Mocana Corp 2003-2005. All Rights Reserved.

Proprietary and Confidential Material.

● About WPA Supplicant

Copyright © 2003-2008, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors

All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- (1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- (2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- (3) Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

● About zlib Library

Copyright notice:

© 1995-2010 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

- (1) The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- (2) Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- (3) This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Do not disassemble, decompile, or reverse engineer the software included in Yamaha AV products.

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なおいや音が出る。
● 煙が出る。
● 内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステーブル止めない。
● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。
● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体のキーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

電池



禁止

付属の電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上20cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス＋とマイナス－）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

再生の前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

本機を大音量で長時間使用しない。
底面が熱くなり、火傷などのけがの原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。



手を挟まれないよう注意

ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



注意

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目にあたると、視覚障害の原因になります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

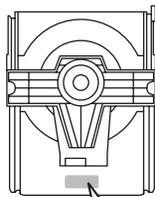


禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

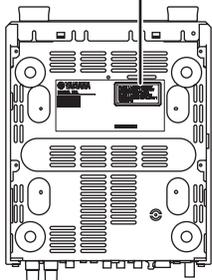


- この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
DO NOT STARE INTO BEAM.
DANGER: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID DIRECT EXPOSURE TO THE BEAM.

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 PRODUKT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
PRODUIT LASER DE CLASSE 1



製品ラベルは本体の底面に貼付してあります。



AirPlay は iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した Mac と PC において動作します。

「Made for iPod」、 「Made for iPhone」、 「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone または iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

本機を iPod、iPhone または iPad と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、iTunes は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。



Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG Layer 3 音声圧縮技術は Fraunhofer IIS および Thomson によってライセンス供与されています。



本機はネットワーク接続に対応しています。



DLNA™ および DLNA CERTIFIED™ はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

Windows™

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™

Android および Google Play は、Google Inc. の商標です。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-011-808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付:月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付:月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付:月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご使用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

